

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.130; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-03-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00005975

Senri Ethnological Reports
130

SER 130

国立民族学博物館
調査報告 **130**

**Umesao Tadao's Observations
on Inner Mongolia:
A Retrospective Review**

Edited by
Narangerel

National Museum of Ethnology
Japan 2015

ISSN 1340-6787
ISBN 978-4-906962-36-5 C3039

梅棹忠夫の内モンゴル調査を検証する

——
娜仁格日勒
編著



**梅棹忠夫の
内モンゴル調査を検証する**

娜仁格日勒 編著

国立民族学博物館 2015

国立民族学博物館 調査報告

130

梅棹忠夫の内モンゴル調査を検証する

娜仁格日勒 編著

国立民族学博物館

2015

目 次

序文：内モンゴルの遊牧とその消失 — 梅棹忠夫の内モンゴル調査を検証するにあたって	娜仁格日勒	1
第1部 社会論		
近代モンゴル社会に対する認識 — 梅棹認識の位置づけ	ウルゲディ・タイブン	13
東スニトの社会変容 — 生活に関する聞き取り調査の活用	娜仁格日勒	29
戦前期における<草地売買> — 経済に関する聞き取り調査の活用	ガンバガナ	55
ラマ廟の社会的機能 — 宗教に関する聞き取り調査の活用	白 莉 莉	81
第2部 牧畜論		
21世紀の遊牧離れ — 梅棹図譜の意義	テクスバヤル	113
糞転がしをめぐる土着の知識 — 梅棹が調査できなかったもの	ウルゲディ・タイブン	127
モンゴルの遊牧に関する梅棹忠夫の見解について — 生態学の観点から	ナチンションホル G. U.	139
もうひとつの乳製品 — 梅棹が記録できなかったもの	ボルジギン・オルトナスト	151
あとがきにかえて	娜仁格日勒	169
執筆者紹介		171

第1部 社会論

第2部 牧畜論

執筆者紹介（五十音順）

ウルゲデイ・タイブン 周太平 (Urgedei Taibung)

内モンゴル大学近現代史研究所教授。専攻はモンゴル史研究。著書に『半年の乱』（内モンゴル教育出版社 2007）、訳著に『大モンゴル帝国』（内モンゴル文化出版社 2009）、編著に『内蒙古外文歴史文献叢書』（内モンゴル大学出版社 2012）など。

ガンバガナ (Gangbagana)

秋田国際教養大学助教。専攻はモンゴル近現代史研究。主要論文に「汪兆銘と内モンゴル自治運動」（2005）、「内モンゴル自治運動における興蒙委員会の役割について」（2007）、「内モンゴル自治運動と太平洋戦争期における日本の対内モンゴル政策—『日華同盟条約』を中心に」（2012）など。

テクスバヤル 特古斯巴雅爾 (Tegusbayar)

内モンゴル大学民族学・社会学学院教授。専攻は民族学・口承伝統研究。主要論文に「チンギス・ハーンの神器の伝説」（1995）“Ajinaiütürsel-ünangqan-u uyangg-a 'ltangmorin-u tatagasu' —Cugur-un domuq-un sudulal (1)” (2010)、“‘斑布’在蒙古高原自然环境和牧业经济形态下的生态学意义—关于蜣螂的民族昆虫学研究之一”（2011年12月）など。

ナチンションホル G. U. (Nachinshonhor, G. U.)

岡山大学地域総合研究センター助教。専攻は生態学・生態人類学。共著に Yamamura, Nachinshonhor et al., *The Mongolian Ecosystem Network—Environmental Issues Under Climate and Social Changes* (Springer 2013)、白石典之、ナチンションホル等著『チンギス・カン の 戒め—モンゴル草原と地球環境問題』（同成社 2010）など。

ナランゲレル 娜仁格日勒 (Narangerel)

内モンゴル大学外国語学院日本語科教授。専攻は文化人類学・モンゴル地域研究。主要論著に『赤い監獄の記』（モンゴル原典研究会 2010）、「1960～1980年代におけるモンゴル人民軍の生活実態」（2010）、「中共による内モンゴル騎兵部隊の解散までの軌跡」（2014）、編著に『内蒙古外文歴史文献叢書』（内モンゴル大学出版社 2013）など。

ハクリリ 白莉莉 (Bai Lili)

内モンゴル大学外国語学院日本語科助教。専攻は歴史民俗学。論文に「オボーと十三塚の比較考察」(2009), 「牧畜村落におけるオボー祭祀の復活及び祭祀活動」(2012), 「牧畜生業形態の変化とオボー祭祀の主宰組織の再形成」(2014) など。

ボルジギン・オルトナスト 烏日図那蘇図 (Borjigin Urtunasutu)

内モンゴル大学民族学・社会学学院准教授。専攻はモンゴル民俗学。著書に『オボー祭祀の文化人類学的研究』(内モンゴル大学出版社 2012), 『日本における「元朝秘史」の研究』(内モンゴル人民出版社 2014), 共訳に『遊牧文明は終焉するか?』(内モンゴル人民出版社 2015) など。

Senri Ethnological Reports (最新号)

当館のウェブサイトにてバックナンバーのPDFをダウンロードすることができます。

<http://ir.minpaku.ac.jp/dspace/handle/10502/49>

- No.129 *Asian Museums and Museology 2014: International Workshop on Asian Museums and Museology in Thailand* (2015; eds. Naoko Sonoda, Kyonosuke Hirai, Jarunee Incherdchai; 英語)
- No.128 *Культурное наследие бурят, эвенков и семейских: Предметы материальной и духовной культуры из коллекций Этнографического музея народов Забайкалья (Республика Бурятия, Россия)* (2015; シャグラノヴァ O. A. ・佐々木史郎編; ロシア語・英語)
- No.127 近代社会における指導者崇拜の諸相 (2015; 韓敏編; 日本語)
- No.126 バウイナング・アボリジナル組合の議事録 (1978～1994) から見る対アボリジニ政策とインフラ整備の歴史——マニングリダと周辺アウトステーションの活動史 (2015; 久保正敏・堀江保範編著; 日本語)
- No.125 *Asian Museums and Museology 2013: International Research Meeting on Museology in Myanmar* (2015; eds. Naoko Sonoda, Katsumi Tamura, Nu Mra Zan; 英語)
- No.124 土方久功日記V (2014; 土方久功著, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)
- No.123 *Некоторые археологические находки Монголо-советской экспедиции под руководством С. В. Киселева: Городище Каракорум, коллекция Государственного Эрмитажа* (2014; Редактор Юки Конагая, Автор Ю. И. Елихина (小長谷有紀編, J. I. エリーヒナ著); ロシア語・英語)
- No.122 梅棹忠夫のモンゴル調査 ローマ字カード集 (2014; 小長谷有紀編; 日本語)
- No.121 *Mongolia's Transition from Socialism to Capitalism: Four Views* (2014; Interviews Conducted by Yuki Konagaya and I. Lkhagvasuren, Translated by Mary Rossabi. Edited and Introduced by Morris Rossabi; 英語・モンゴル語)
- No.120 *Healing Alternatives: Care and Education as a Cultural Lifestyle* (2014; ed. Nanami Suzuki; 英語)
- No.119 20世紀におけるブリヤート人たち——中国内モンゴル自治区フルンボイルにおける口述史 (2014; 小長谷有紀・サラングレル・ソヨルマ編; モンゴル語・日本語)
- No.118 世界における無国籍者の人権と支援——日本の課題——国際研究集会記録 (2014; 陳天璽編; 日本語・英語)
- No.117 中央アンデス農耕文化論——とくに高地部を中心として—— (2014; 山本紀夫著; 日本語)

[国立民族学博物館刊行物審査委員会]

須藤健一 館長
岸上伸啓 副館長
吉田憲司 副館長
西尾哲夫 民族社会研究部
池谷和信 民族文化研究部
寺田吉孝 先端人類科学研究部
鈴木七美 研究戦略センター（研究出版委員長）
野林厚志 文化資源研究センター

平成27年11月27日発行

国立民族学博物館調査報告 130

編著者 娜仁格日勒

発行 人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL. 06(6876)2151(代表)

印刷 株式会社 遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL. 06(6304)9325(代表)
